

第5回 藤沢市都市マスタープラン策定協議会 議事要旨

日 時 2025年（令和7年）10月21日（火）午前10時00分
場 所 藤沢市役所 本庁舎7階 7-1・7-2会議室

1. 開 会

2. 成立宣言

3. 議 事

（1）前回策定協議会の振り返り

（2）都市マスタープラン素案について

4. その他

5. 閉 会



事務局	<p>【１ 開会】</p> <p>【２ 成立宣言】</p> <p>（会議成立の宣言）</p>
事務局	<p>【３ 議事】</p> <p>（議事１「前回策定協議会の振り返り」を説明）</p>
	<p>○質疑応答</p>
A 委員	<p>・子どもや若者に伺った結果、「卒業後、藤沢で働きたくない、住み続けたくない」と回答した方が０人ということ was わかりましたが、「わからない」と回答した１名の方の理由は伺っていますか。</p>
事務局	<p>→「わからない」と回答した１名の方は、藤沢に通学している方ですが、藤沢に住んでいないため、藤沢のまちが今一つわからないという趣旨で「わからない」という回答をされています。</p>
A 委員	<p>・住んでいないと、関わりの深さによってはまだ入口にあたる点にいるという意味だと思います。「どれくらい住んでいるのか」「昔から住んでいるのか」まで聞くと、「わからない」という理由も伺うことができ、藤沢が向かうべき根拠の一つにもなると思います。</p>
会長	<p>・「ふじさわ子ども・若者委員会」は凄く大事だと思うのですが、委員の方々はどのように選ばれたのでしょうか。自発的に手を挙げた方なのか、学校に推薦された方なのかなど、それによって意見の意味が違うと思います。</p>
事務局	<p>→委員は、今年の５月～６月頃に広報で周知を呼びかけ、興味のある子どもたち、若者に手上げをいただいたものです。子ども部局で取組を進めている中で、都市マスタープランも連携していきたいということで、会議の時間を一部お借りして、このような取組をいたしました。</p>
会長	<p>・今回はアンケートの対象者でしたが、今後、都市マスタープランの実現や次の段階において、「ふじさわ子ども・若者会議」にも、より主体的に関わってもらえるような取組につながれば良いと思います。</p>
事務局	<p>（議事２「都市マスタープラン素案について」を説明）</p>
	<p>○質疑応答</p>
	<p>（「都市マスタープランとは」「ビジョン編」についての質疑応答）</p>
B 委員	<p>・２１ページの「自然空間体系」について、「自然環境の持つ機能を面として」とありますが、「面」という言葉を入れる必要はあるのでしょうか。</p> <p>→市街地においても自然環境の持つ機能を取り込むにあたって、施設や道路等で取り組むというより、「自然空間体系図」で黄色のハッチで示した「面」と</p>

B 委員	<p>して都市全体で取り組むということを表現する意図ですが、「面」に限定しなくても意図が通じるようであれば、修正を検討したいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 17 ページの「拠点」の「都市拠点」について、①②③は語尾が「めざします」、④⑤⑥は断定的な別の表現になっています。あえて語尾を変えているのであれば、どちらかに振る方が良いと思います。 ・ また、②湘南 C-X の部分だけ少し具体的になっています。近くに住んでいる人はわかると思いますが、外部の方や一般市民に向けて出すと考えると、気になります。 ・ 12 ページの「自立するネットワーク都市」について、役割が4つ書いてあり、「ひとは」「地域では」まではわかりますが、「広域における市では」が良くわかりませんでした。「何々としては」という記述の仕方をして良いのではないかと思います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語尾や「自立するネットワーク都市」の部分について、もう少しわかりやすい表現があるか、検討をお願いいたします。
C 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的にわかりやすくまとまっていると思います。 ・ 6 ページの「社会展望」の「環境や社会」の部分について、「カーボンニュートラルが実現しています」とありますが、努力して実現するというのなら良いですが、そのニュアンスが伝わらないと思います。「実現しています」ではなく、「取組が進んでいます」という表現が良いと思いました。 ・ 18 ページにある「地区拠点」と「身近な拠点」の説明内容は良いのですが、ここまで書いていると、どこが拠点なのか、地図がほしいと思いました。拠点だけを階層的に書いた図を挿入できると良いと思います。 ・ 22 ページの「市街地等の構成」で、住居系、産業系、その他ということですが、これについても、どこを指しているのか地図上に示してほしいです。「将来都市構想図」の色塗りの部分を引き出していただければと思います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「拠点」、「市街地の構成」、「交通体系」、「自然空間体系」と4つを重ねたものが「将来都市構想図」とのことなので、それぞれに図があった方がわかりやすいと思います。特に地区拠点はどこを指しているかわからないので、図面の追加を検討していただきたいと思います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12 ページの「自立するネットワーク都市」の下3つの文章については、揃えると良いと思います。3番目の文章は「役割を果たすこと」となっていますが、上の2つと揃えると「役割を果たす都市であること」となります。「未来へ役割を果たすため」というのは、この後にある「未来へ貢献する」などの言葉を使って、「未来の都市に貢献する都市であること」という表現が良いと思います。これら以外にも、見出しとして打ち出す部分に関しては、言葉の粒を揃えてほしいと思います。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 13ページの「使ってもらう」という表現は、誰が主体で、誰に対して言っているのかわかりにくいと思います。「使ってもらう」では、市民の方々がお客様というニュアンスを感じます。市民の方々が自分の意思でまちを使い、まちを共創する、一緒につくっていく主体だとすると、「もらう」という表現は違和感があります。都市マスタープランとは何かということにも関係しますが、「使ってもらう」という表現に意図はありますか。 <p>→これまでつくってきた都市に目を向けてもらい、余すことなく使ってもらいたいという意図がありましたが、ご指摘のとおり、「もらう」という表現では、共創や対等という考えの中で市民の方々がお客様のように感じるため、今後、検討いたします。</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 13ページの図などは概要版などにも載りそうだと思うので、丁寧に、誤解がないような表現をしてほしいと思いました。
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料はすごくわかりやすくなったという感想です。 ・ 6ページの「社会展望」について、概ね20年後の2050年の展望が書いてあり、将来に期待を持って読んでいく中で、19ページの「交通体系」についても2050年はどうなっているのかと考えたとき、何か新しい乗り物などの具体的な表現があっても良いと感じました。新幹線の駅や空港に行く際のバス便が無く、使いにくくなってきているので、2050年はもっと便利になると期待が持てるような記載がほしいと思いました。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「社会展望」に2050年の展望が書いてありますが、「交通体系」の内容を見ると何が実現したいのかわかりにくいということだと思います。ご検討いただいて、仕上げていくようお願いします。
E 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「自然空間体系」の「自然空間体系図」について、この後の関係する図と表現の仕方を統一していますでしょうか。36ページの「プラン編」の「地球環境に貢献する都市づくり方針図」はさらに詳細な図だと思いますが、表現の仕方が変わっている気がします。
事務局	<p>→21ページの「自然空間体系図」は、都市としての骨格を示す図として、主に、水と緑のネットワークを具体的に表現しているものです。36ページの方針図に関しては、「方針3 地球環境に貢献する都市づくり」の具体的な内容を図として表現しているものです。骨格を示すものと方針を示すものとして、同じ要素ですが、意味の違う図として描いています。</p>
F 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 19ページの「交通軸の構成要素」の「南北方向」に「横浜町田線」とありますが、こういった名称の都市計画道路はないと思います。
事務局	<p>→「藤沢町田線」が正しい名称です。修正いたします。</p>
F 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 20ページの「交通体系図」の「藤沢町田線」と「横浜藤沢線」が、19ページの「交通軸の構成要素」の路線に反映されてないので、追加した方が良いと思います。

事務局	→再度、確認いたします。
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6 ページの「社会展望」の「人やライフスタイル」の記載を含め、全体的に「次世代を育む」というようなキーワードを盛り込んだ方が良いと思います。若い世代に積極的に手を挙げて関心を持つ人はいるものの、もともと知らない人は関心を持たないので、「若い世代と一緒に育んでいく、まちをつくっていく」というメッセージ性を出してほしいと思います。 ・ 「ふじさわ子ども・若者委員会」など、若者たちによる委員会の発足や、意見を求めていくという取組もある中で、5 ページの個別計画に「藤沢市子ども・若者共育計画」の記載があると良いと思います。 ・ 21 ページの「自然空間体系」の「構成要素」では、農地について維持・保全的な書き方をしている、守るところに留まっている印象です。「プラン編」では、農地を新しい価値として活用していくイメージも記載されているように思うので、バランスをとって、もう少し記載しても良いと思いました。 ・ 19 ページの「交通体系」について、全市の話なので鉄道等の記載が主ですが、その中に「身近な移動を支える新たな交通システムの導入」とあります。概念的な言い方ですが、生活移動というと「小さく移動が豊かにつながっていく」ということを考える必要があるのでは、もう少しそのような記載をすると良いと思いました。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「次世代を育む」ことを強調することと、農地の新たな価値の表現、交通の小さな機能の部分の表現を、もう少し充実できるか、検討をお願いします。 <p>(「プラン編」についての質疑応答)</p>
C 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 49 ページの「共通方針図」は、都市マスタープランの中で最も重要な図面ではないかと思います。「地区プラン」の共通方針としての役割だけではなく、一番都市計画図に近いもので、これに基づいて用途地域や都市基盤施設を考えるため、これが「地区プラン」の中に入っていることに違和感があります。「都市プラン」の最後に入れるか、「都市プラン」と「13 地区プラン」の間に1 つ節を加えて配置するなど、もう少し目立たせた方が良いと思います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 順番としては良いのですが、都市全体の土地利用と交通を即地的に示した図は「共通方針図」しかないのでは、位置づけの再検討が必要かもしれません。
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 29 ページの「都市プラン」の図について、もう少しワクワクするような感じがほしいと思います。また、少し見にくいと感じたので、改善いただけると良いと思います。 ・ 39 ページの「強さとしなやかさを備えた都市づくり方針図」について、災害リスクの高い都市機能誘導区域とありますが、そこはとても低い土地で、そういう場所に地区防災拠点本部（市民センター）があることが以前から気になっていました。低いところに集まるということが、今後、改善されるのかもしれ

会長	<p>ないと思っていたので、気になりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 29 ページの図は色分けがありますが、何かに対応しているわけではないので、逆に理解しづらくしているのだと思いました。 ・ 39 ページの「強さとしなやかさを備えた都市づくり方針図」については、ご指摘のとおり、災害リスクの高い場所と地区防災拠点本部が重なっていますが、実際に重なる場所があるのでしょうか。もし重なっているとすれば問題だと思うのですが、確認していますか。
事務局	<p>→青色の塗りが水害リスクのあるエリア、赤のダブル斜線がハザードエリアと都市機能誘導区域が重なるエリアを表現しております。こういった災害リスクのある場所に地区防災拠点本部となる市民センターがあるというのは、ご指摘の通りです。建替えの際には津波被害や洪水被害に耐えるような施設設計をして、避難地としても有効に機能することを目指すこととしています。</p>
会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市マスタープランでも、そこまで言及できているのですか。 <p>→施設ごとには書いていませんが、38 ページの（3）の3つ目に「災害時の都市のサービス機能の維持」と記載しており、インフラや都市施設などの維持に努めていくことを考えております。また、37 ページの（1）の「地域防災まちづくり（共通）」の2つ目に「各拠点に応じた災害対応機能の充実」と記載しており、こちらでも拠点ごとの充実を示しています。</p>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な話が出てきて、ワクワクしました。 ・ 42 ページ、43 ページの「方針6 連携と挑戦の都市づくり」について、（1）から続く方針に医療や福祉の話があまり入っていませんが、今後重点を置いていくところだと思うので、具体的に記載する必要があると感じます。 ・ 「地区プラン」について、それぞれの地区の方々と話し合ってきたのだと思いますが、例えば、52 ページの片瀬地区の今後の将来像の部分について、「都市プラン」であった江ノ島から海上交通を発展させるというような話が言及されておらず、プラン間でつながっていないところがあると感じます。また、「都市プラン」では「広域に周りの都市と連携しながら～」という話がありますが、隣の市と接している地区の記載でも内部の話が中心の記載に見え、広げていく内容ではなかったなので、全体的にそういった記載をする必要があると感じました。 ・ 71 ページの「地区資源マップ」において、駅前ではしっかりと開発をしているということで、湘南 C-X を地区資源として明記しないと、わかりにくいと感じます。 ・ 96 ページの遠藤地区の地区まちづくり方針の「地域内外の連絡を強化する道路網の形成と、公共交通の利便性の向上」の1行目にある「（仮）遠藤葛原線の整備」について、97 ページの「地区まちづくり方針図」の中央の上部にある構想の線がそれを表現しているのだと思いますが、整備が決まっているなら、明記しても良いと感じました。 ・ 74 ページの湘南大庭地区について、この地区だけ人口について明記されて

会長	<p>おらず、内容も今いる人を持続させるという記載になっていますが、人の推移や動態など、人口の話を少しは入れないと、わかりにくいと感じました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地区プラン」はかなりボトムアップでやってきたことから、「都市プラン」と整合がとれてないところ、抜けているところがあるということだと思いますが、対応は可能ですか。
事務局	<p>→「地区プラン」はボトムアップ的な進め方をしてきたこともあり、地区のまちづくりの方針として、市が進めるものでもあります。地域の皆さまが進めるまちづくりの方針としてもつくってまいりました。そのため、市として進めるべきことを弱く、地域の声をいただいた道路整備の話などを強く書くようにしております。いただいたご意見は参考とさせていただきますが、そういった経過でこのような記載となっています。</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・「都市プラン」と矛盾していると困りますが、必ずしも「都市プラン」に書いていること全てが、「地区プラン」に落ちているという関係ではないということですね。
事務局	<p>→そのとおりです。</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、具体的な指摘もありましたので、検討していただきたいと思います。
E 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・36ページの「地球環境に貢献する都市づくり方針図」について、色が近い凡例が多く、緑の微妙な違いで表現されているものは判別がしにくいと思いました。 ・同じ図の鉄（軌）道の計画構想の表現について、他の図では表現の仕方が違ったり、表現自体が無かったりするのですが、「地球環境に貢献する都市づくり方針図」においてはこの凡例が目立つので、これほど重要なのかと疑問に思いました。 ・同じ図について、辻堂駅を南北にまたがる「水と緑の軸」が描かれています。「ビジョン編」の「自然空間体系図」と整合がとれていないと思いますが、どのような緑を表現しているのでしょうか。
事務局	<p>→鉄（軌）道の表現については、脱炭素等の環境配慮という観点で、鉄道を軸に進めていくまちづくりを重要視するという意図があります。「（3）環境にやさしい持続可能なまちづくり」の「環境負荷低減に向けた公共交通の利用促進」等が、この図と整合している記載となります。</p> <p>→「水と緑の軸」については、現在、改定が進んでいる「緑の基本計画」の図を一部取り入れており、大切にしていける緑の軸線として扱っています。一方、「自然空間体系図」で示した「水と緑のネットワーク軸」は、自然的土地利用を主として、その部分だけではなく、ネットワークとして確保するという意図で描いているため、意味合いが違った図となっています。</p>
E 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・その違いがわかりにくいと思うのですが、どこかに説明はありますか。
事務局	<p>→注釈等はありません。不整合を感じるというご指摘ですので、記載を充実して進めたいと思います。</p>
E 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ図について、「みどりを育み環境にやさしい市街地」という凡例がありま

事務局	<p>すが、色を塗っている部分以外、全てが該当するということですか。</p> <p>→この凡例は市街地全般を指しており、市街地においてもみどりを大切にして、グリーンインフラの観点を踏まえたまちづくりをしていくことや、「（３）環境にやさしい持続可能なまちづくり」にある、脱炭素や循環型社会に配慮したまちづくりのエリアを示すという意図で表現しています。</p>
E 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・そのような意図がわかるように記載にする工夫が必要だと思いました。
F 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・４３ページの【主要幹線道路など】に「丸子中山茅ヶ崎線」とありますが、この計画のルールでは都市計画道路名か県道番号等で書くのだとすると、都市計画道路に「丸子中山茅ヶ崎線」は無いため、「県道４５号」という表記をするのではないのでしょうか。同様に「湘南台大神伊勢原線」も都市計画道路にはないため、「県道４１０号」という表記になると思います。同じようなところがないか、もう一度チェックした方が良いと思います。
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・３１ページの「住みよさを育む都市づくり方針図」の凡例の「暮らしのあり方を検討する地域」は、市街化調整区域を言い換えているのでしょうか。また、「特性にあわせた豊かな住環境を創出する市街地」は、市街化区域を指しているのでしょうか。表現は説明的ですが、市街化区域か市街化調整区域を見分けているというイメージを受けました。３０ページの（５）の１つ目と２つ目をエリアとして表しているという理解で正しいですか。
事務局	<p>→「暮らしのあり方を検討する地域」は、今後、新市街地になる想定箇所を除いた市街化調整区域を、「特性にあわせた豊かな住環境を創出する市街地」は、市街化区域のうち産業系の用途地域を除いたエリアを住宅地等としてプロットしています。</p>
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・図の凡例と方針の内容の対応が読み取りづらく、特に「暮らしのあり方を検討する地域」には「市街化区域調整区域」と括弧書きで書かれているので、文言の統一と凡例との兼ね合いがわかりにくいと思います。 ・同じ図について、現状、拠点のようなものがこれぐらいしかないと言われてしまう気がします。それを埋めるために、３０ページの（３）の１つ目に、身近な拠点の創出を支援する、促進するという記載があるのだと思いますが、この図は現状を示していて、どう目指すのかが示されていないので、マイナスに捉えられてしまうと思いました。また、現在の拠点は生活圏からほど遠く、拠点のようなものも足りないのだから、市民が一体になってつくっていくことを都市マスタープランでも応援するというメッセージ性が「地区プラン」にはありますが、この３１ページの図は逆方向になっていると思ったので、工夫があると良いと思います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な拠点については、どう表現をするか、難しいと思います。どこにできるかわからないため、具体的な場所は示せないとしても、増えていくイメージを表したいと感じます。現状の施設しかプロットされていないと思うので、表現の仕方はわかりませんが、大事なところだと思います。

G 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 39 ページの「強さとしなやかさを備えた都市づくり方針図」について、「土地地区画整理事業実施区」を描いていますが、土地地区画整理事業を実施している場所は基盤が整っていて、延焼をしないというようなことを示したいのでしょうか。また、「市街化区域（工業専用地域を除く）」とありますが、いろいろな情報が入りすぎて、何を訴えたいのかが良くわからなくなっています。「土地地区画整理事業実施区」まで描く必要があるのでしょうか。 ・ 同じ図で、もし、流域治水を強く打ち出したいのであれば、市街化調整区域を示し、田園等の保全による遊水機能など、総合治水の概念を示すのではないのでしょうか。 ・ 同じ図で、土砂災害と高潮のハザードが描いてありますが、このエリアをどうしたいのかという方針がありません。例えば、災害のリスクが高いエリアの対策を強化していきますという説明を凡例につける等をしないと、方針図になっていないと言われてしまうので、整理した方が良いと思いました。 ・ 33 ページの「（２）産業機能を活性化させるまちづくり」に「工業」と書いてありますが、流通や物流は「工業」に入るかどうかを記載した方が良いと思います。物流施設等ができる、反対運動が起こることもあり、土地利用転換に対して都市計画が大きな説明責任を負うことになります。特に、トラックが増えるのではないかと懸念から、地域の住民の皆様が非常に敏感になる点もあるので、「工業」に物流や流通系が入っているのか、もし入るのであれば、それに対する方針を書いた方が良いと思いました。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的なお指摘なので、検討をお願いいたします。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 41 ページの「美しさに満ちたまちづくり方針図」の凡例について、景観法に基づく特別景観形成地区や景観形成地区は描かれていますが、市の条例に基づき街なみ継承地区に指定されている旧東海道藤沢宿について図示されていないことが気になります。今後も続けていくのかという観点もあるかもしれませんが、指定文化財だけではなく登録文化財まで表現すると、藤沢市のことがより表現できると思いました。 ・ 36 ページの「地球環境に貢献する都市づくり方針図」について、「水と緑の軸」は別の計画から来ていると理解していますが、村岡新駅の周辺において御霊神社のところの都市計画公園から村岡新駅を超えて抜けていく緑の軸を描いていただけると、その軸を実現させる強い根拠になると思いました。 ・ 46 ページの共通方針について、「自然・市街化調整区域のゾーン」という表現がありますが、これを「自然・田園系のゾーン」と記載し、その中で市街化調整区域にする場所はこうしていくと書くのが良いと思います。市街化調整区域は、市街地特性ではありません。48 ページの「都市計画道路」という表現についても、ここでは幹線道路全体について書く必要があるのか、「幹線道路」とした方が良いと思います。都市計画における手段と、どういう対象にその手段を使うかを区別しないと、混乱につながり、抜け落ちてしまうこともあ

	<p>ると思います。整理をお願いいたします。</p>
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「地区プラン」にある、「まち」、「資源」という項目について、それぞれの地区でトーンが違っていると思いました。課題感のような記載と目指すところに関する記載が混在している印象があります。「資源」という表現もわかりにくいと感じたので、これらの文言も見直すと良いと思いました。 <p>(「プロセス編」についての質疑応答)</p>
G 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 113 ページの「総合的な指標の設定」について、都市マスタープラン上で指標を設定するのでしょうか。例えば、現在の昼夜間人口比率が100だとしたら、2050年には105にしていくなど、そういった目標値まで設定するのですか。個人的には、モニタリングするだけで良いと思いますが、具体的にどのように指標を設定して、どう評価していくのでしょうか。
事務局	<p>→引き続き具体的に検討してまいります。目標値を設定するというより、いろいろな角度から都市の動向を定期的に見ることが大事だと考えており、その動向を基に、都市マスタープランや都市づくりにおいて、具体的に進んでいく方向性を確認する指標として置くべきものだと思います。</p>
G 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングしているということが重要で、112 ページに「都市計画審議会に報告して進捗管理」とあるように、都市計画審議会で見えていただき、改善が必要な場合は、そのプログラムをつくっていただければと思います。 ・その中で、113 ページの「総合的な指標の設定」の「4 強さとしなやかさを備えた都市づくり」の指標に「橋梁やライフラインの耐震化率」とあり、おそらく道路のことを指していると思います。これを管理者ごとに評価するとおかしなことになってしまうので、藤沢市道のみを対象とするのではなく、ネットワークとして市民の方が利用する神奈川県道や国管理の道路を含め、市内にある道路は全て評価していただければと思います。
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「プロセス編」においても、次世代にどう関心を持ってもらいながら関わってもらおうかという視点を持ち、その指標を入れるべきだと思います。例えば、113 ページの「総合的な指標の設定」の指標例に、義務的に毎年行う市民意識調査が含まれています。これを若者の意見を伺う機会として、「このまちが好き」「自分が住んでいるまちに誇りを持っている」などといったキーワードを設問に入れ込むことで、他の事業計画と連動するような指標として設定していただきたいと思います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 113 ページの「総合的な指標の設定」について、方針1から6までの指標例が記載されていますが、方針0に対する指標はあるのでしょうか。この「方針0 ひととつながるまちづくり」という一番大きな方針の指標として、「若者が参画する」というような指標が入ってくる気がします。
事務局	<p>→方針0については、様々なご意見を踏まえながら、適切な指標値を考えたいと</p>

